

事業承継フォーラム 講演資料

中小・小規模企業
× 事業承継ファンド
× 地域金融機関
= 地域の課題解決と発展

日本プライベートエクイティ株式会社

2023年10月27日

はじめに・・・ 本日の目的

オーナー経営者の方から、事業承継の相談を受けて、

『 株式(資本)の問題に対応できる、

色のついてないお金があれば・・・』

『 柔軟に使える、

“融資”ではない形の資金があれば・・・』

と思ったことはありませんか？

あるいは、『そんなお金があれば・・・』

解決策の選択肢が広がると思いませんか？

『 うちも“ファンド”をつくることできないか。

何か考えるように。』

『 うちも、なにか“ファンド”をやらないと・・・ 』

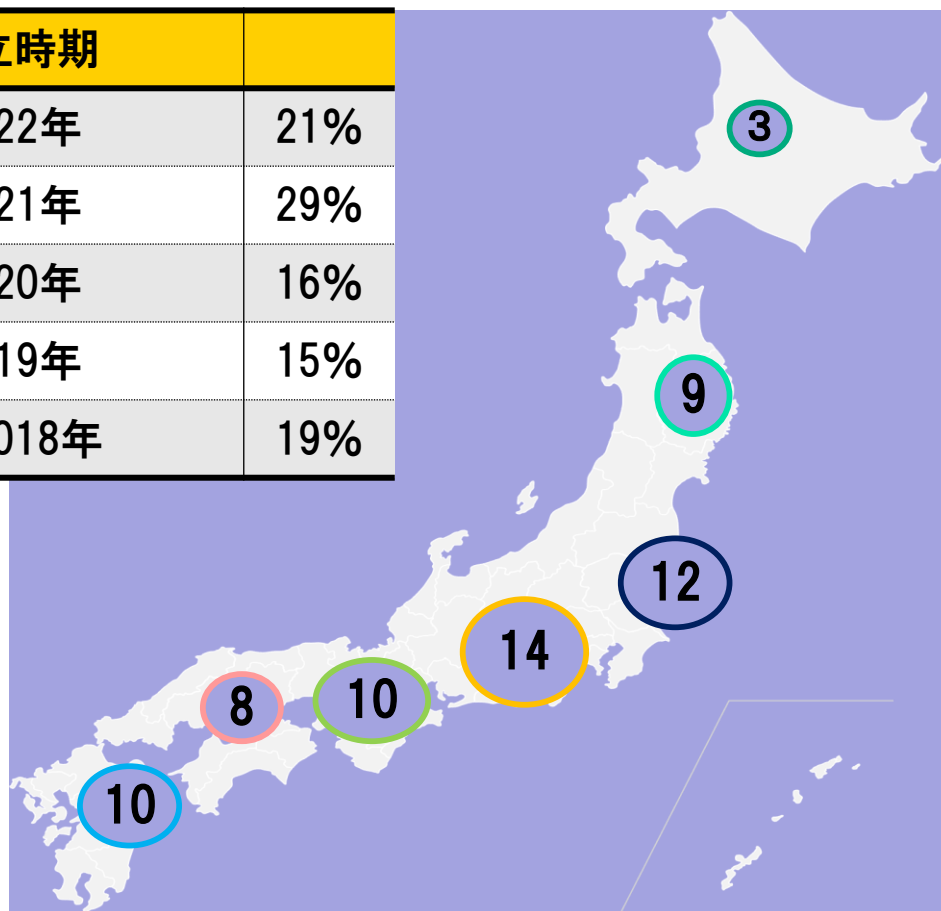
『いざ始めてみたけど、どうも、うまくいかない・・・ 』

地域銀行による“事業承継ファンド”

➤ 全国の地域銀行 約60行により、約70本の事業承継ファンドが組成、運用中。

ファンドサイズ	
30億円～	10%
10～30億円	38%
5～10億円	25%
～5億円	19%
未詳	7%

設立時期	
2022年	21%
2021年	29%
2020年	16%
2019年	15%
～2018年	19%



「SOGOTCHA」（株式会社マーブル）
2022年7月 調査より JPEにて集計

信用金庫業界における“事業承継+α”ファンド



東京都



運用期間

ファンド規模

投資対象

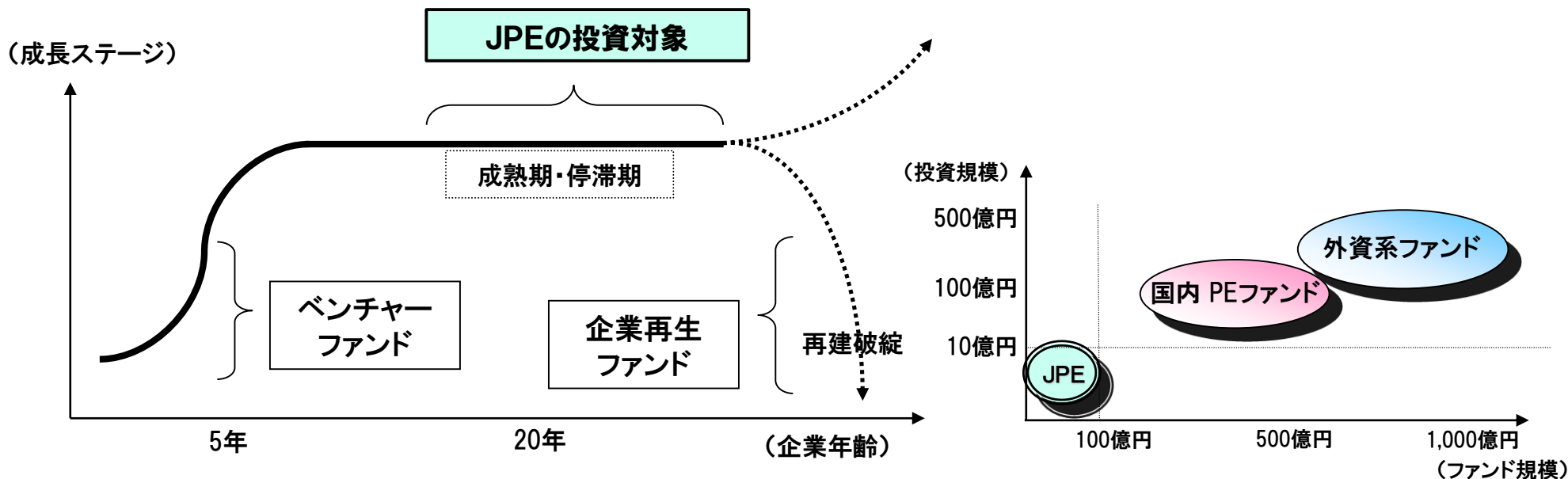
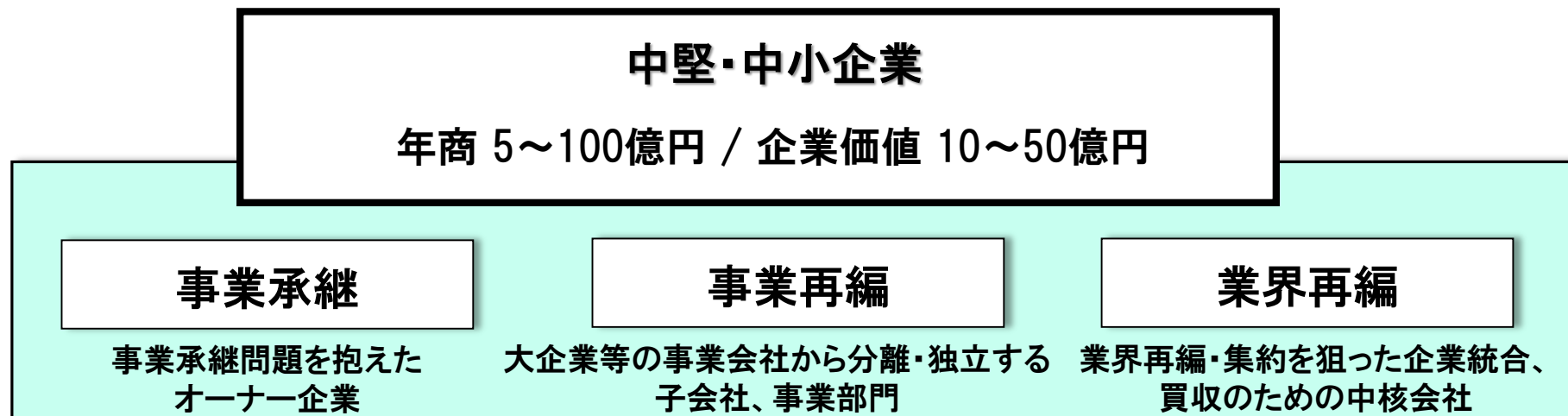
運営者

出資者

日本プライベートエクイティ株式会社は、日本の“中小企業分野(Small-cap)”におけるバイアウト(Buy-Out)ファンドの先駆者として、中立的で信用力のある株主と多くの投資家の皆様からの信頼を背景に、優良な中堅・中小企業への投資に特化した“事業承継・事業再編ファンド”を運営しています。

資本面で課題を抱える、“事業承継”に悩むオーナー企業や、選択と集中を進める事業会社の“事業再編”に伴って分離される子会社等の事業存続と企業価値向上をファンドを通じて支援します。

- | | | |
|---------------------|--|---|
| □ 会社名 | 日本プライベートエクイティ株式会社 (略称:JPE) | https://www.private-equity.co.jp |
| □ 設立 | 2000年10月24日 | |
| □ 資本金 | 6,000 万円 | |
| □ 本社 | 東京都千代田区神田三崎町二丁目15-6 K-STAGE 5F Tel:03(3238)1726 Fax:03(3238)1639 | |
| □ 事業内容 | プライベートエクイティファンド(バイアウトファンド)の管理運営、コンサルティング業務 | |
| □ 代表者 | 代表取締役社長 法田 真一 | |
| □ 株主 | 株式会社日本M&Aセンターホールディングス (東証一部上場) | 36.1% |
| | 株式会社日本政策投資銀行 (政府出資100%) | 35.7% |
| | その他(自己株式・役員) | 28.2% |
| □ 適格機関投資家等特例業務の届出業者 | | |
| □ 有料職業紹介事業 | 厚生労働大臣許可 13-ユ-302881 | |



“ Why JPE ? ” — なぜ “日本プライベートエクイティ株式会社 (JPE)” か？ —

経 験

➤ 日本の中小企業分野におけるバイアウトファンドの“先駆者”

- 2000年の会社設立以降、23年にわたり、中小企業向けバイアウト投資に特化して得られた経験とノウハウ
- 日本の中小企業のバイアウトマーケットにおいて独自のネットワークを構築
- 一貫した投資方針を23年にわたって堅持し、“2度の景気の波”と“4度の危機”を乗り越えた経験
- 大手プライベートエクイティファンドとは一線を画して、差別化された投資戦略を実践

実 績

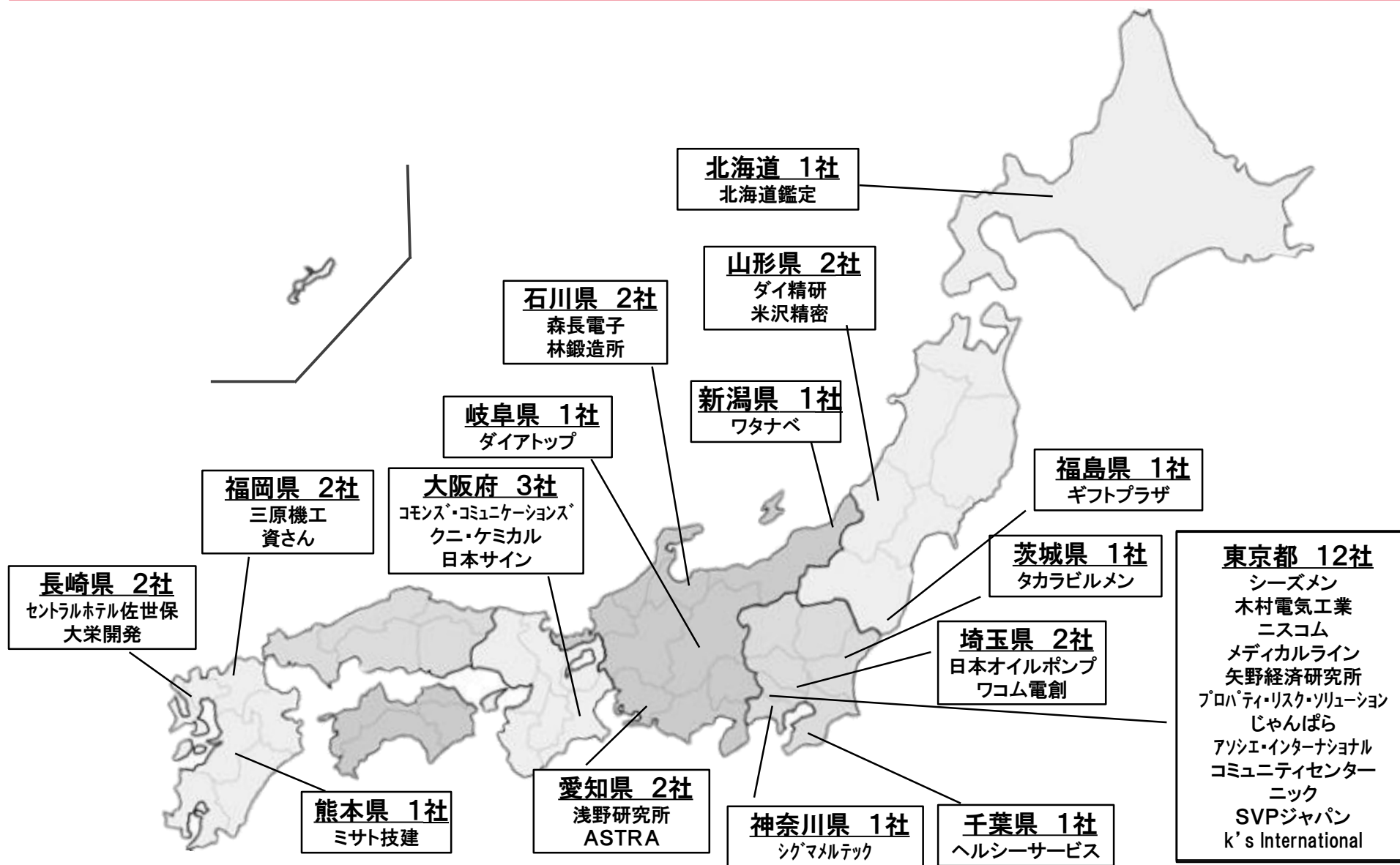
➤ 中小企業分野におけるバイアウトファンドとしての堅実な“実績”

- 多元化・差別化された豊富なネットワークからの信頼を得て、累計2,500件超の案件相談
- 幅広い投資家(金融機関・事業会社等)からの支持と信頼を得て、累計10ファンド(総額266億円)を運用
- 投資先件数 累計36社。ファンド業界ではトップクラスの実績
- EXIT実績 累計27社。“上場”や“友好的M&A”、“再MBO”等、様々なEXITを柔軟かつ確実に実現

スタンス

➤ バイアウトファンドとしての中立で一貫した“姿勢”

- 信用力のある資本(株主)をバックにして、自立した経営を実践するファンド
- 資本面での中立性を維持し、親会社等に左右されない意思決定の自由度を確保しているファンド
- 中小企業の資本に関わる問題に誠実に向き合い、ディールに柔軟に対応できるファンド
- 中小企業のオーナーや上場企業が安心して託すことができる、日本でも稀少なファンド
- 幅広い投資家から信頼を得てファンドを組成し、ミドルリスク・ミドルリターンの運用を徹底



■ 現在、ファンドで保有して企業価値向上を図っている先 9社

株式会社アソシエ・インターナショナル（東京都目黒区）
目黒区、港区を中心に許可保育所等の児童福祉施設を運営



株式会社SVPジャパン（東京都中央区）
会員制ビジネス情報提供サービスの展開



株式会社ギフトプラザ（福島県郡山市）
贈答品の専門店「ギフトプラザ」の運営



k's International 株式会社（東京都港区）
美容室の展開



株式会社コモンズ・コミュニケーションズ（大阪府大阪市）
コンタクトセンター（コールセンター）の運営



株式会社ティ・ケー・エス（東京都渋谷区）
美容室、理容室、ネイルサロン、ブライダル事業の展開



株式会社ニック（東京都板橋区）
病院・学校・マンションの清掃、設備管理、警備等



日本サイン株式会社（大阪府大阪市）
鉄道駅、各種施設のサインシステムのデザイン、施工監理



米沢精密株式会社（山形県米沢市）
精密金型部品、精密ネジ等の製造



運用ファンドについて

さまざまな投資家からの信頼を得て、
中小・小規模企業に特化した、ユニークなファンドを組成



日本政策投資銀行



三洋電機株式会社



ふくおかフィナンシャルグループ



東京都

■ 運用ファンド（含むクローズファンド） 運用ファンド本数(累計) 10 組合 / 運用総額(累計) 266 億円 (*2022年12月現在)

【 事業承継・事業再編ファンド 】

ジェイジェイ・プライベートエクイティ 壱号投資事業有限責任組合

＜主要投資家＞ あおぞら銀行

運用終了

JPE・プライベートエクイティ 3号投資事業有限責任組合

＜主要投資家＞ 日本政策投資銀行

運用終了

JPE・プライベートエクイティ 4号投資事業有限責任組合

＜主要投資家＞

日本政策投資銀行、三井住友銀行、きらぼし銀行、
京都銀行、十六銀行

組入完了

JPE・プライベートエクイティ 5号投資事業有限責任組合

＜主要投資家＞

日本政策投資銀行、山陰合同銀行、足利銀行、
三井住友信託銀行

組入中

【 業種特化（製造業）ファンド 】

TAKUMI 1号投資事業有限責任組合

運用終了

TAKUMI 2号投資事業有限責任組合

＜主要投資家＞ 三洋電機、新生銀行

運用終了

【 地域特化ファンド 】

九州・リレーションシップ 1号投資事業有限責任組合

＜主要投資家＞

福岡銀行、福岡中央銀行、福岡ひびき信用金庫、宮崎銀行、
独立行政法人中小企業基盤整備機構

運用終了

TOKYO・リレーションシップ 1号投資事業有限責任組合

＜主要投資家＞

東京都、きらぼし銀行、ゆうちょ銀行、城南信用金庫、
西武信用金庫、フォーバル、東京信用保証協会

組入中

【 特定プロジェクト・事業再編 特化ファンド 】

JPE・プリンシパル投資事業有限責任組合

運用終了

JJ・プライベートエクイティ 2号投資事業組合

運用終了

ユニークな運用ファンド（地域特化型） 具体例

3つの “リレーションシップ ファンド”

“連携”をテーマにした、地域特化型ファンド



ふくおかフィナンシャルグループ



東京都



九州リレーシヨンシップファンド について

「地域金融機関」× 事業承継ファンド × JPE

2008年7月 ～ 2016年12月



ふくおかフィナンシャルグループ

×



九州・リレーションシップ 1号投資事業有限責任組合

出資金総額 30億円

(2008年7月設立)

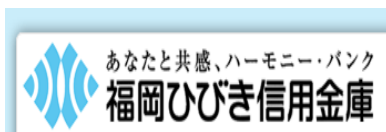
運営者（共同GP）

日本プライベートエクイティ株式会社

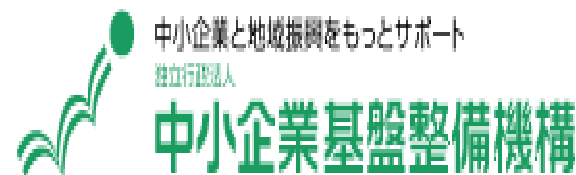
福岡キャピタルパートナーズ株式会社

ファンド出資者

地域金融機関



中小企業基盤整備機構



TOKYOリレーションシップファンド について

「自治体」× 事業承継ファンド × JPE

「東京都」が直接出資する唯一の事業承継ファンド

「東京都」に地域特化

「小規模企業」の事業承継も支援



東京都



「TOKYO・リレーションシップ 1号ファンド」概要



報道発表資料

2018年12月25日 産業労働局

平成30年度新規事業
事業承継支援ファンドの設立について

「TOKYOリレーションシップ1号ファンド」は、東京都が自治体として初めて出資し、唯一、直接出資し、主たる出資者となっている、“地域特化・中小企業特化型の事業承継ファンド”です。

TOKYO・リレーションシップ 1号投資事業有限責任組合

総額 3,750百万円

2018年12月設立

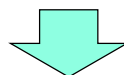
【出資者】



【ファンド運営者】



【投資対象】



『東京都内に拠点を持つ』『中小企業及び小規模企業』で『事業承継問題を抱える企業』

「 TOKYO・リレーションシップ 1号ファンド 」 Micro-Cap 投資先

投資先企業	本社	創業 (設立)	オーナー 年齢 (譲渡時)	資本金 (投資時)	年商 (投資時)	純資産 (投資時)	社員数 (投資時)
コミュニティセンター株式会社 (マンション管理員の代行業務)  結び広げよう共生の絆 株式会社コミュニティセンター	練馬区	1993年	70歳	10百万円	1,074百万円	196百万円	42名
株式会社NIC (病院等の清掃・設備管理)  株式会社 ニック BUILDING CLEANING AND MAINTENANCE	板橋区	1976年	70歳	50百万円	581百万円	153百万円	263名
株式会社SVPジャパン (会員制ビジネス情報提供)  SVP SVP JAPAN Co., Ltd.	中央区	1974年	74歳	65百万円	508百万円	144百万円	26名
k's International株式会社 (美容室の展開)  collet	港区	2008年	39歳	5百万円	240百万円	58百万円	32名

四国リレーションシップファンド について

「公共交通インフラ 事業会社」× 事業承継ファンド × JPE

四国の島内・島外企業へ投資

事業承継・スタートアップ・資本提携・合併会社設立 幅広く投資

JR四国へのグループ・インというEXITも想定

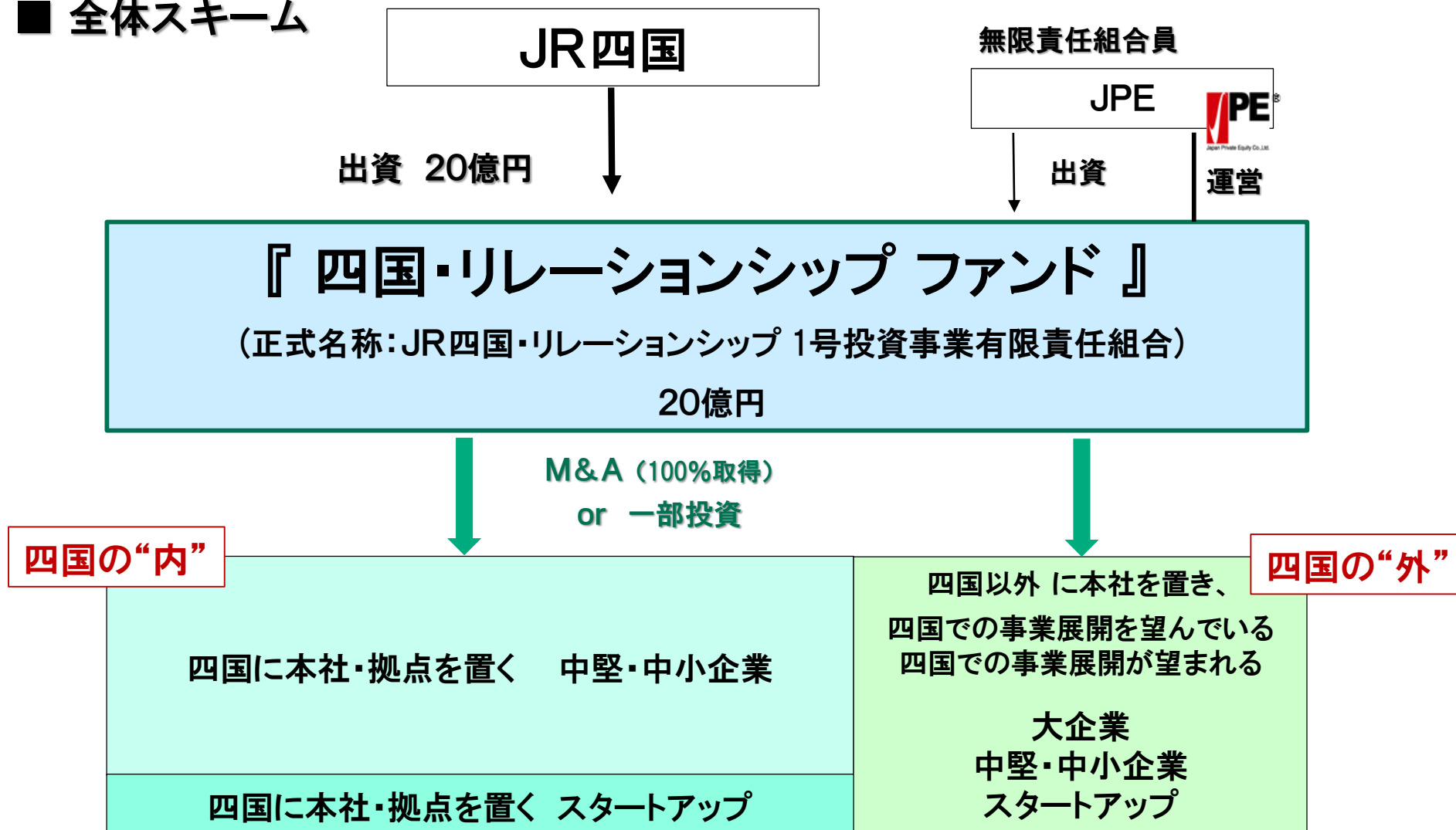


×



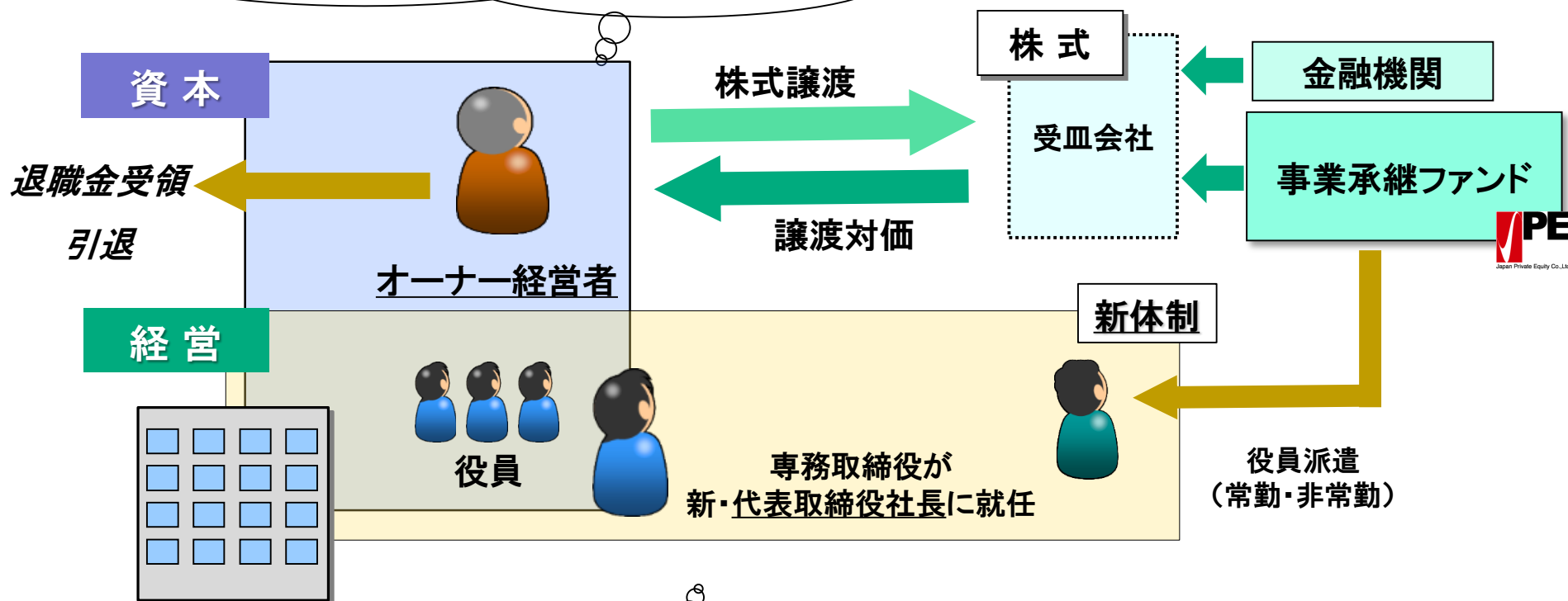
「四国・リレーションシップ ファンド」 設立・運用スキーム

■ 全体スキーム



“事業承継ファンド”の基本的なしくみ — 株式と経営の承継 —

息子は大企業に就職して地元を離れ、身内で会社を継ぐ人間はいない。
自分も会社も元気うちに、事業の承継を考えたい。



対象会社

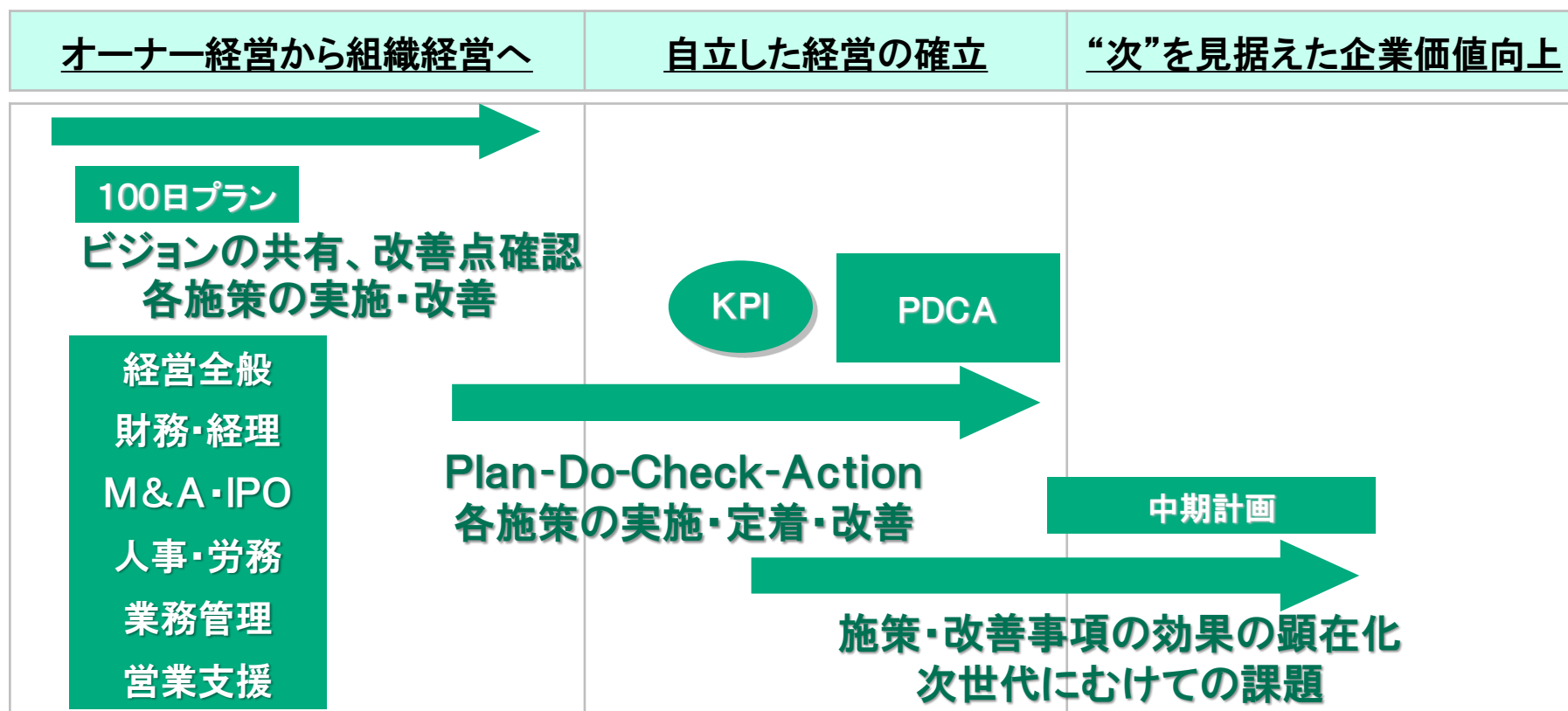
新・社長として事業を引き継ぐにしても、“技術”のことしかわからない。
営業面や財務面のサポートをファンドにお願いしたい。

事業承継ファンド（JPE）が何をしてくれるのか？

未来への承継のために“自立”を支援

経営陣とファンドが一体となって、自立を促しながら企業価値を高める

変えるべきでないものは変えず、変えるべきものは変える



中小企業の事業の継承と発展には、中小企業の社風や企業文化を尊重し、
ファンドと価値観を共有できる経営人材が不可欠。（有料職業紹介事業認可：13-ユ-302881）

■ 案件タイプ・業種別の投資先36社の経営者の就任形態（2023年8月現在）

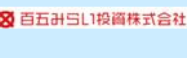
案件タイプ	業種	就任形態	社数	(参考) CFOなど 役員派遣
事業承継 29社	製造業 11社	外部招聘	6社	2社
		内部昇格	4社	4社
		現任続投(留任)	1社	1社
	非製造業 18社	外部招聘	12社	2社
		内部昇格	5社	3社
		現任続投(留任)	1社	—
事業再編 (子会社独立・MBO) 7社	製造業 1社	外部招聘	1社	—
		内部昇格	—	—
		現任続投(留任)	—	—
	非製造業 6社	外部招聘	—	—
		内部昇格	—	—
		現任続投(留任)	6社	1社

➤ 過去 EXIT先 累計 27社。次の時代に向けての“自立”と“成長”を実現。

経営陣に承継

 浅野研究所	 ニスコム	 林鍛造所	 ミサト技建	 ワタナベ
		 北海道鑑定	 ASTRA	 コミュニティセンター

ファンドに承継

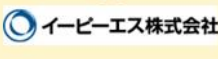
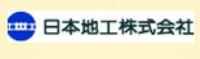
 ダイ精研	 日本オイルポンプ	 株式会社 資さん 資さん	 ダイアトップ
		 福岡キャピタルパートナーズ	 百五みらい投資株式会社

株式上場


シーズメン



M&A
事業会社に承継
(相乗効果と補完関係)

 木村電気工業	 タカラビルメン	 メディカルライン	 森長電子	 ワコム電創	 シグマメルテック	 セントラルホテル 佐世保
		 イービーエス株式会社	 日本地工株式会社		 make possible	 庄屋フーズシステム
 三原機工	 プロパティ・リスク・ソリューション	 ヘルシーサービス	 大栄開発	 矢野経済研究所	 じゃんぱら	 クニ・ケミカル
	 iocオフィシャル プロフェッショナルサービスパートナー					

事業承継ファンドが果たす「4つの役割」

■ JPE 事業承継ファンドが果たす役割

株式の承継

- オーナーが保有する全株式を買い取り、現金化します。

経営の承継

- 事業運営は、プロパーの役員や社員の方々を中心に行います。

成長の支援

- “変えるべきところ”と“補うべきところ”に焦点を当て、オーナー経営から組織経営への移行を支援します。
- 事業環境や株主に左右されない“強い会社”となる基盤を構築します。
- 成長戦略の策定と実行を中立的な立場とネットワークで支援します。

未来への承継

- 自立した経営体制を維持しながら、次の時代に向けての永続的な発展を実現するための資本政策を立案し、実行します。

事業承継ファンド活用のメリット

創業者利潤の実現

経営理念や企業文化の継承

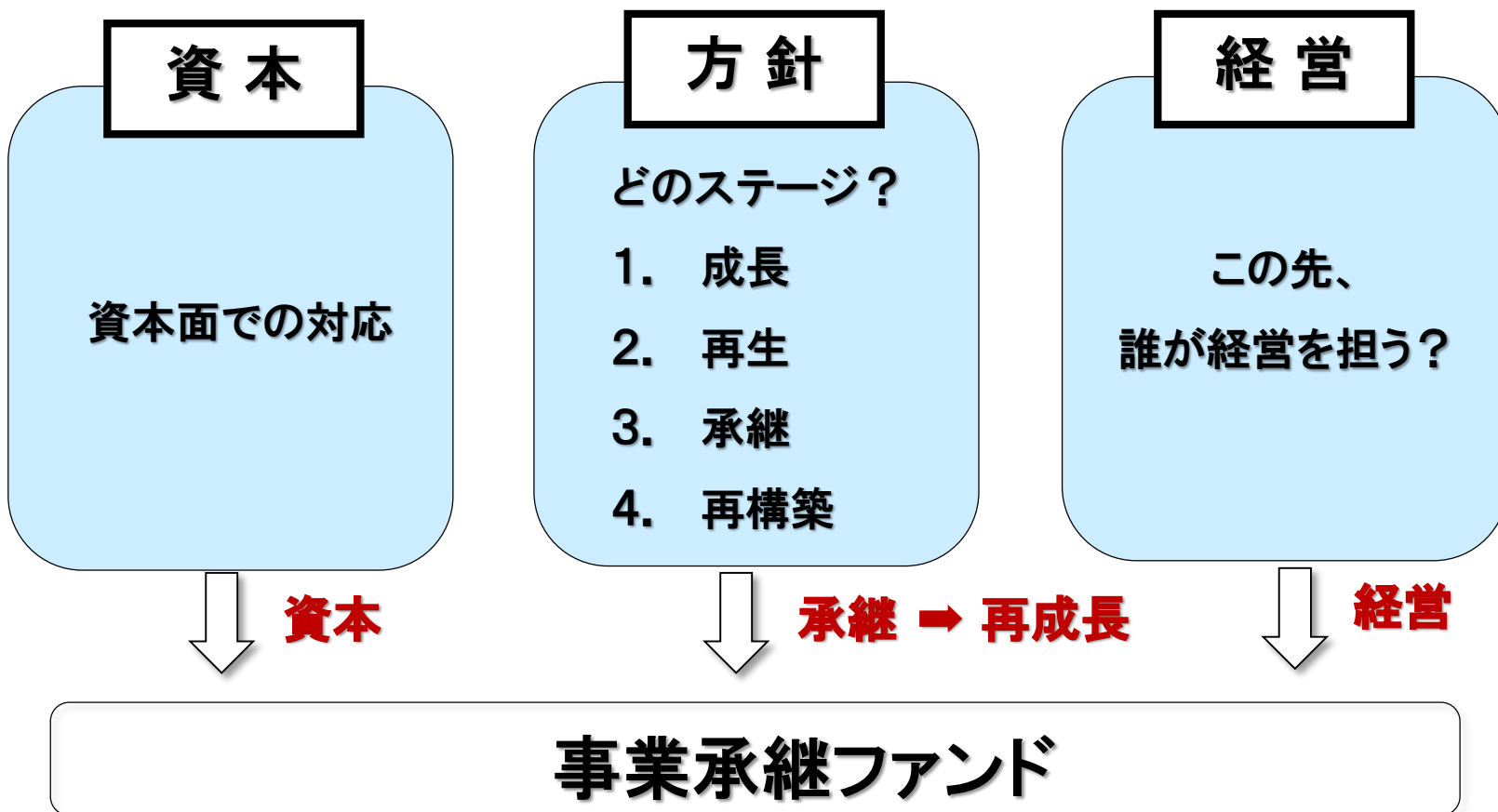
会社の自立と成長への支援

会社の永続的な発展への布石

“After コロナ” の中小企業・小規模企業に必要なこと

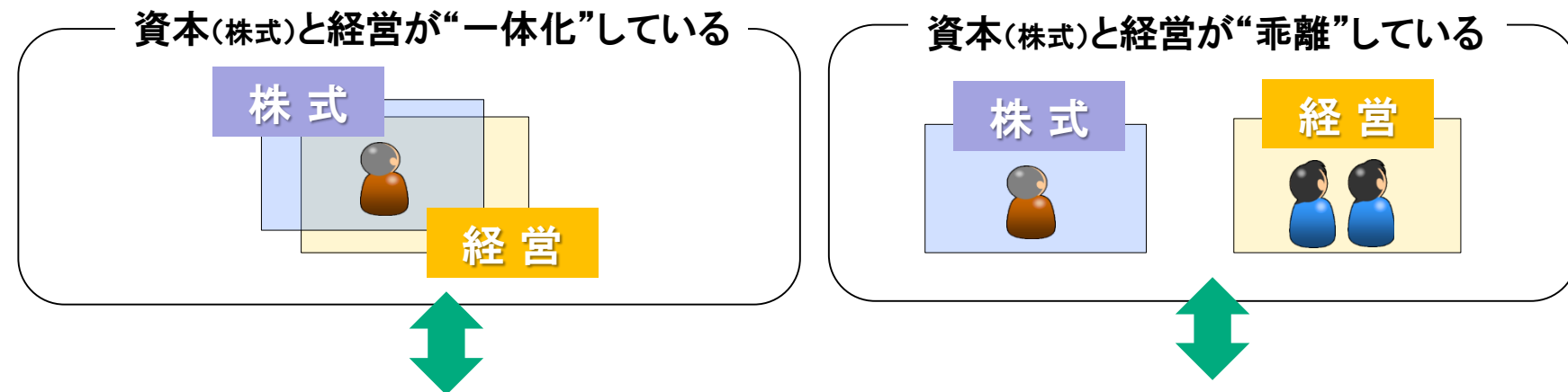
コロナと共に、中小・小規模企業に起きたこと → “債務”と“先送り”

“After コロナ” の中小・小規模企業に必要なことは・・・ “3つ”

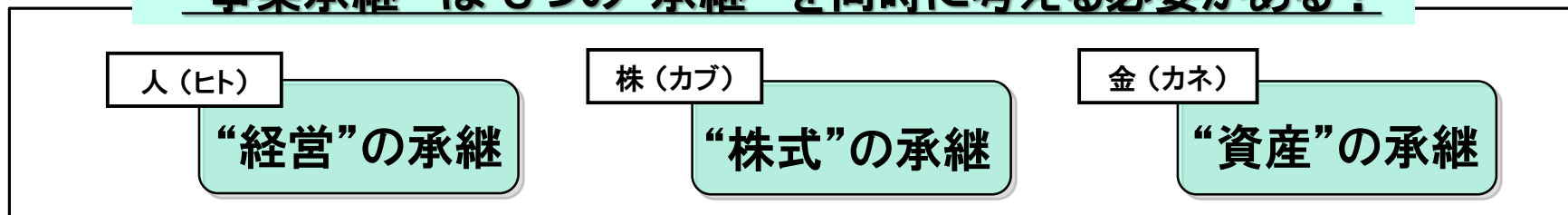


なぜ“事業承継”は難しいのか？ – “2つの背景”と“3つの承継” –

“資本”と“経営”がどういう状態にあるか？



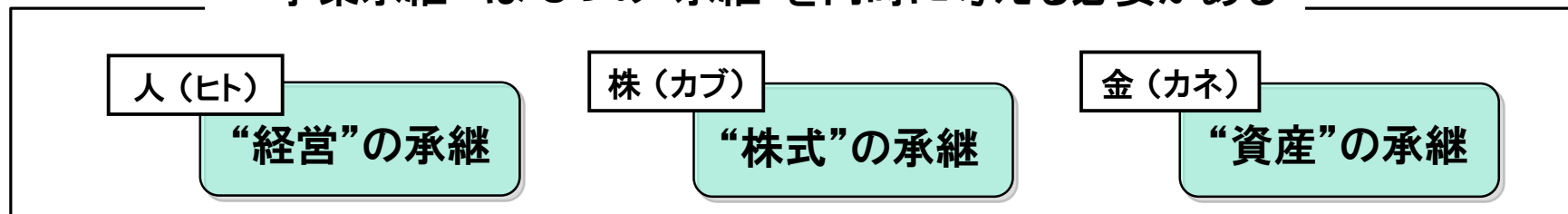
“事業承継”は3つの“承継”を同時に考える必要がある！



今の“資本(株主)”と“経営”の状態
“3つの承継”を同時に考えることができるか？

事業承継ファンドが“資本”と“経営”の問題を解決する！

“事業承継”は3つの“承継”を同時に考える必要がある



事業承継ファンドは、多面的な解決策の提供が可能！

■ そもそも・・・

後継者がいない！



■ 事業承継ファンドが・・・

経営者を探します！

■ 役員・社員への承継を考えてみたが・・・

経営能力が足りない！



■ 事業承継ファンドが・・・

サポートします！人材も補強します！

株式を買い取る資金がない



資金はファンドが出します！

個人保証は嫌だ！



保証の必要ありません！

■「会社」のことを考えたうえで

会社の色がつかない

取引先への影響がない
中立性が維持・確保できる

会社を磨き上げる

企業価値を向上させる
会社を再成長軌道に乗せる

社員も株主も目指す方向は同じ

会社の発展を共に願う応援団が確保できる
いい会社になればなるほど選択肢は増える

業界内に売却の噂が流れない

M&Aを持ち込んだ相手には当然知られる
業界内で足元をみられずに済む

■「社員」のことを考えたうえで

会社を自立させる

社員の意識改革ができる
自立への意識と意欲が高まる

役員・社員にチャンスを与える

社員に自立のチャンスを与えてみる
社員のことを思ったうえでの選択である

資本政策が柔軟に考えられる

株主の状況や事情に応じて対応ができる
直接の買い手として意思疎通がしやすい

本当にふさわしい相手を探す

“選ばれる”のではなく、“選ぶ”立場に立つ
時間をかけて、得心できる相手を選ぶ

JPEからの“3つのご提案”

1. 「東京 × 小規模企業 × 事業承継」ファンドの設立！
2. 地域のための“独自のファンド”を一緒に考えます！
3. 親族外承継できるように“みがきあげ”をしましょう！

“東京”で、地域により根差して、小規模企業に特化した、事業承継ファンドを地域の皆さんと一緒に設立したい。

地方や地域のニーズや特色を活かし、地域の金融機関それぞれの事情に沿った、独自の“ファンド”の組成を“資本(ファンド)”という立場で、一緒に悩み、考え、解決策を具体化したい。

親族外承継への具体的な選択に至る前のニーズに対応するため、“みがきあげ”のメニューと一緒に考え、品揃えする、お手伝いをしたい。

これから“ファンド”を考える皆様へ

ファンドでないと果たせない役割

これから、さらに必要とされる“ファンドの機能”

小規模企業にとっても / 信用金庫にとっても / 地域にとっても

2021年4月 中小企業庁

中小・小規模企業の事業承継支援のためのM&Aを集中的に！

『中小M&A推進計画』を策定。

以降5年間、官民を挙げて、具体的な施策が実行へ。

- “中小M&A”の潜在的な譲渡側の事業者は約60万者との試算。
- “中小企業”＋“小規模企業”や“超・小規模企業”にも目を向けた、“資本”に関わる資金へのニーズへの対応が必須。
- 中小M&Aでも、「大規模」「中規模」「小規模」「超小規模」かで、企業特性はもちろん、支援内容や支援機関が異なる。

■ ファンド組成 検討にあたって イメージの共有 — 基本方針 —

ファンド組成の目的は？

ファンド規模はどれくらい？

外部の投資家は入れる？

EXITは？

儲ける？ 目標リターンは？

投資対象(背景)は？

投資対象(企業規模)は？

投資対象(地域)は？

投資する企業数は？

運用期間は？

運営者は？

“ファンド” のつくりかた ②

■ ファンド組成 検討にあたって イメージの共有 — 差別化・特徴 —

ファンド組成への秘めたる“想い”はありますか？

投資先に対して、株主となるアピールポイントはなんですか？

■ ファンド組成 検討にあたって イメージの共有 — 運営・課題 —

案件をどうやって探しますか？

誰が投資しますか？

誰が投資先の価値を上げますか？

どうやって企業価値を高めますか？

投資候補先はありますか？

どれくらい人員を割けそうですか？

すでに“ファンド”を始められた皆様へ

始めてみて、初めてわかる課題 / やったものでないとわからない大変さ

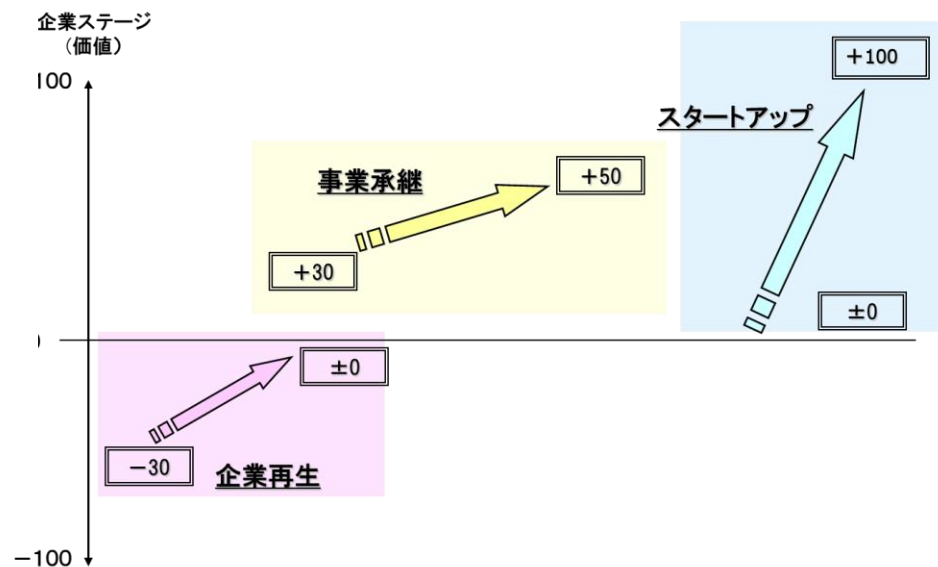
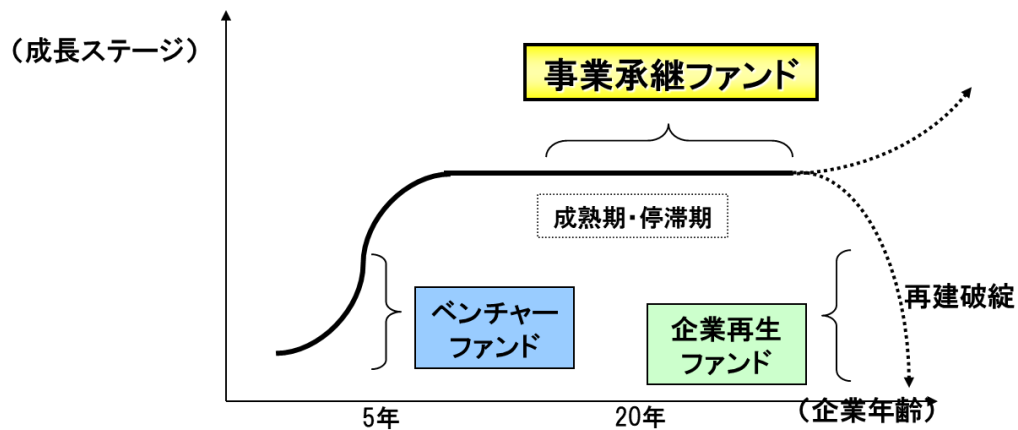
投資する案件がない！

投資する前のややこしい問題の方が多い！

動かない人が多い！

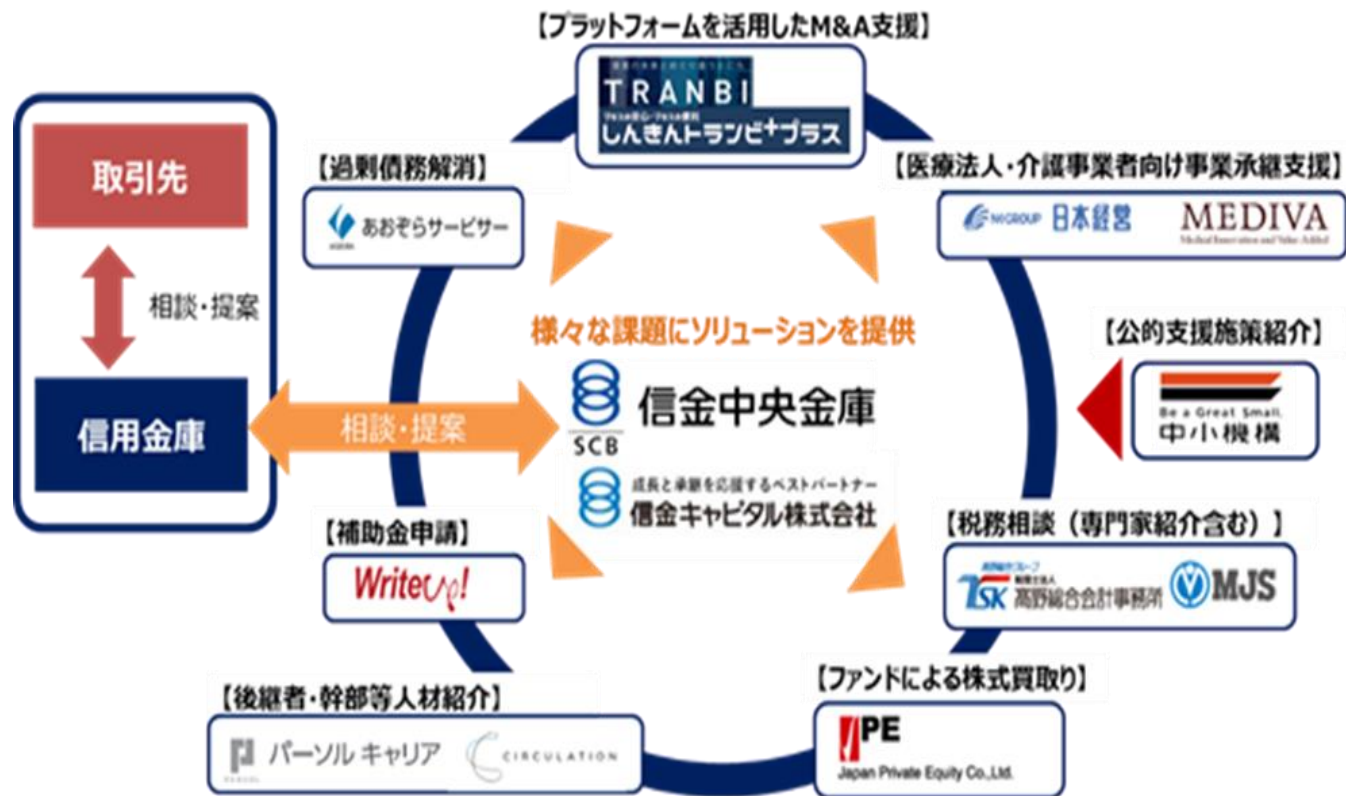
“みがきあげ”の必要性の痛感！

共有します / 一緒に考えます



地域においても必要な“リレーションシップ”と“ソリューション”

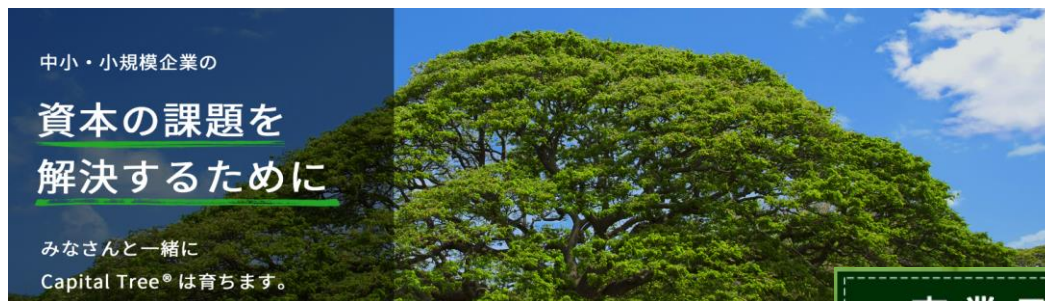
- 信金中央金庫が組成する「しんきん事業承継コンソーシアム」を通じた連携（事業承継の外部専門機関との連携組織）



(本コンソーシアム参加者)

課題・ニーズ	会社名
M & A	信金キャピタル株式会社
	株式会社トランビ
ヘルスケア分野のM & A	日本経営グループ
	株式会社メディヴァ
税務相談	税理士法人高野総合会計事務所
	ミロク情報サービスグループ
ファンドによる引受け	日本プライベートエクイティ株式会社
後継者・幹部等人材紹介	パーソルキャリア株式会社
	株式会社サーキュレーション
補助金申請	株式会社ライトアップ
過剰債務の解消	あおぞら債権回収株式会社
公的支援施策紹介	独立行政法人中小企業基盤整備機構

(順不同)



■ サービスコンセプト

目的
(why?)

中長期的関係の構築を前提とした、
将来のあるべき姿を共に目指し、伴走するパートナーとなる
将来の事業承継(M&Aを含む)に向けたサポートを行う

ターゲット
(who?)

中小・小規模事業者のオーナー経営者

提供価値
(what?)

事業承継に関するトータルなソリューション
安心と、信頼性、いつでも相談できる存在
資本と経営をセットで考えたソリューションの提供

事業承継
TV
ガイド

事業承継
本棚
BOOKS



事業を譲りたい経営者と、
事業を譲り受けたい候補者の
マッチング支援“relay”



M&A
セカンドオピニオン

M&Aの進め方や内容について
専門家としての客観的な立場から
“第2の意見”を提供します



コラム “志・継・夢・承”



■ お問い合わせ先

日本プライベートエクイティ株式会社

法田 真一（ほった しんいち）

E-Mail : s-hotta@private-equity.co.jp

TEL : 03-3238-1726